

カノークスグループ環境方針

基本認識

地球環境問題は、その影響が地球規模の広がりを持つとともに、次世代以降にも及ぶ深刻な問題である。カノークスグループ各社は、地球環境問題を経営上の重要課題の一つとして位置づけ、経営者および従業員の環境意識の高揚を図り、あらゆる活動を通じて地球環境の保全と改善に努め、次の世代に豊かな地球を引き継ぐことを目指す。

具体的には、地球温暖化や大気汚染などの改善、リサイクル・省エネルギーの促進、環境ビジネス・グリーン調達の促進などの目標を掲げ、それらに伴う環境関連法規等の遵守並びに管理体制の充実、教育・啓発活動などを行う。

つまりカノークスグループの従業員すべてが地球環境問題への深い認識を持ち、環境に配慮した企業活動を推進していくことを目標とする。

行動指針

1. 環境負荷の軽減

地球温暖化、オゾン層破壊、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、悪臭などの環境問題の改善に貢献する。

2. 廃棄物の削減、リサイクルの促進

廃棄物の発生を減少させ、発生した廃棄物は可能な限りリサイクルし、最終処分場に埋め立てる廃棄物の量を削減する。

3. 省資源、省エネルギーの促進

枯渇が懸念される資源の消費を削減し、化石燃料や電力などのエネルギー使用の削減を行う。

4. 環境ビジネスの促進

地球環境問題の改善に貢献する製品、装置、サービスの販売及び事業を促進する。

5. グリーン調達の促進

物品やサービスの調達にあたっては、環境問題を考慮して選択する。

6. 化学物質含有製品の適正管理

化学物質含有製品の適正な管理を実施する。

7. 環境関連諸法規等の遵守

環境関連法規や条例を遵守する。また、グループ各社が受け入れを同意した環境関連の取り決めがある場合は、各々がそれを遵守する。

8. 環境管理体制の充実

環境管理体制を整備し、地球環境保全活動の一層の充実を図り、継続的改善に努める。

9. 啓発活動の実施

従業員全員が、地球環境問題への深い認識を持ち、環境に配慮した企業活動を進めるよう教育・啓発活動を行う。

(1999年11月17日制定)

(2000年5月1日改定)

(2001年6月1日改定)

(2002年3月4日見直)

(2003年3月24日見直)

(2004年6月1日見直)

(2005年5月1日見直)

(2006年4月3日見直)

(2007年4月27日見直)

(2008年4月1日見直)

(2009年4月1日見直)

(2010年4月1日見直)

(2011年4月1日見直)

(2012年4月1日見直)

(2017年10月25日見直)